



難波 希美子

一、高齢者の消費者被害 二、外国人との共生 三、EV車急速充電器

高齢者の消費者被害

問 町内の消費者被害は。令和2年度の相談件数は35件である。

答 地域見守りネットワークの活動状況を問う。

問 高齢者地域自立生活支援事業では、本年1月は14名に70回の訪問をし、認知症高齢者SOSネットワーク事業では、9名が登録し本年度は3件の情報発信があった。

問 事前警告機能付き通話録音機は被害防止に有効とされているが、町は推奨しているのか。高齢者スマホ教室ではこの機能を案内しているのか。

答 有効だと住民も認識済みと思われる。スマホ教室での案内は未確認である。

外国人との共生

問 外国人との共生についての方角性を問う。

答 地域社会の一員として交流出来る環境を充実させ、多様性と包容性のある社会をめざす。

問 行政手続きの現状は。同伴者がいることが多いが、ICT等の活用をして行政や生活情報の多様化が必要と認識している。

問 民生委員等の訪問は実施しているのか。外国人の見守りの報告はない。

EV車急速充電器

問 役場の充電器が有料になった理由は。

答 周知・啓発期間を終え、近隣の状況を鑑みた。ランニングコストは、年間27万円と電気料金となる。

問 利用者からの要望は。夜間や休日の対応で、今後検討していく。

問 今後EV車の需要が増えると思うが、方針は。ハード整備は必要と認識している。

問 24時間対応、予約制の充電器を道の駅駐車場や東地区に設置しては。道の駅については産業建設部と府とで協議していく。東地区は難しい。

一般質問



井上 加奈子

一、公園の設置 二、新型コロナウイルス蔓延による学校・保育所閉鎖時の対応

公園の設置

問 役場跡地活用の進捗よく状況を問う。

答 令和4年度当初予算に旧庁舎周辺整備に係る予算を計上し、駐車場・公園両方含めて検討する。

問 各地区集会所で遊ぶと苦情を受ける事案の対応状況を問う。

答 各区長に柔軟な対応をお願いし、適切にされていると認識する。

問 最近も苦情を受けた事案がある。その場合どう対応すべきか。遊んでよい集会所に案内のポスターを掲示してはどうか。

に状況を確認すればよいのではないかと考える。

学校・保育所閉鎖時対応

問 学校の家庭学習・リモート授業の状況を問う。

答 小学1～2年生は紙媒体の課題を中心に、3年生はオンライン学習システムを活用、4～6年生はオンライン学習システム活用と授業の様子の配信を実施。中学校はオンライン学習システムを活用し、担任等がオンラインで個別対応もしている。

問 保育所の休所・登所自粛により乳幼児家庭は孤立しやすく、子どもへの影響が懸念される。対策状況を問う。

答 子どもの未来応援センターで相談を受け付け、状況を見ながら家庭教育支援員の家庭訪問を早期に再開する。保育所の運営のため感染防止に重きを置いていたが、情報のタイムリーな発信にも努めている。今後は保護者の休業による支援金等の案内も工夫していきたい。

